

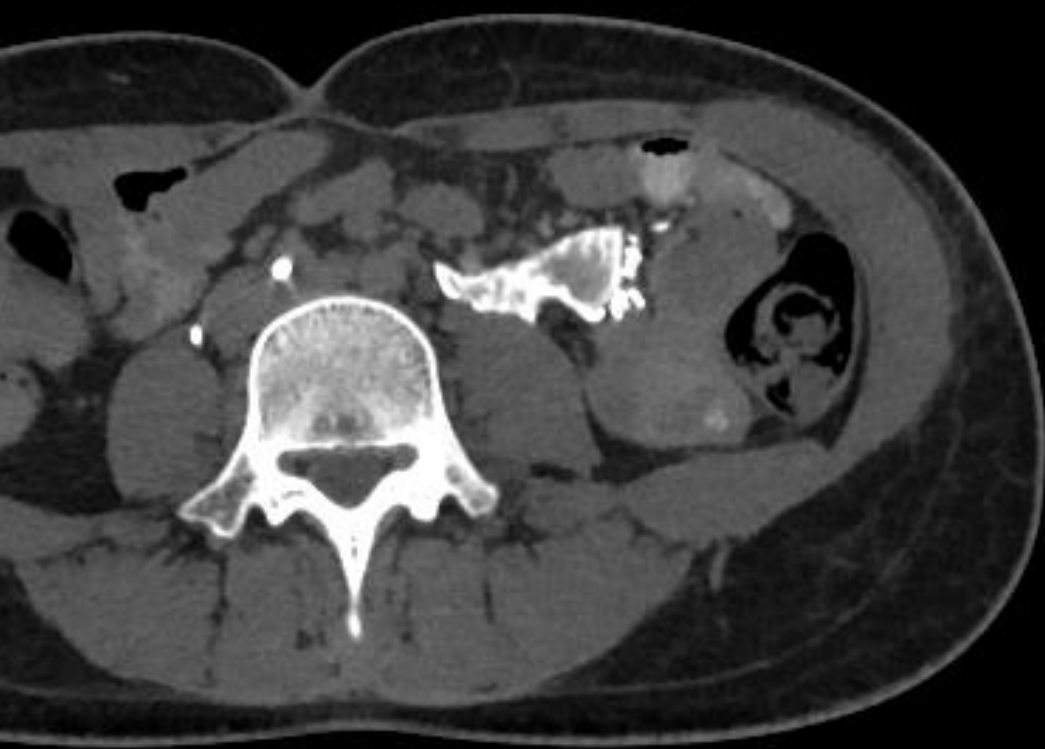
31F

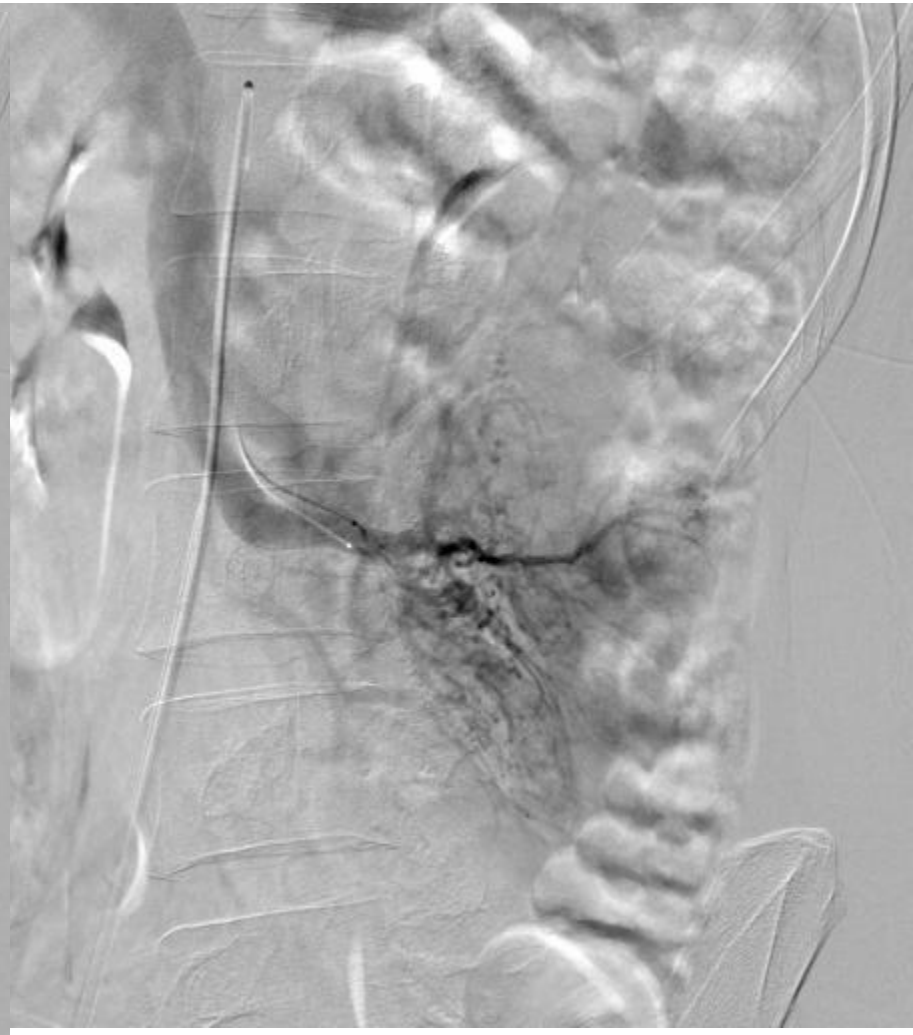
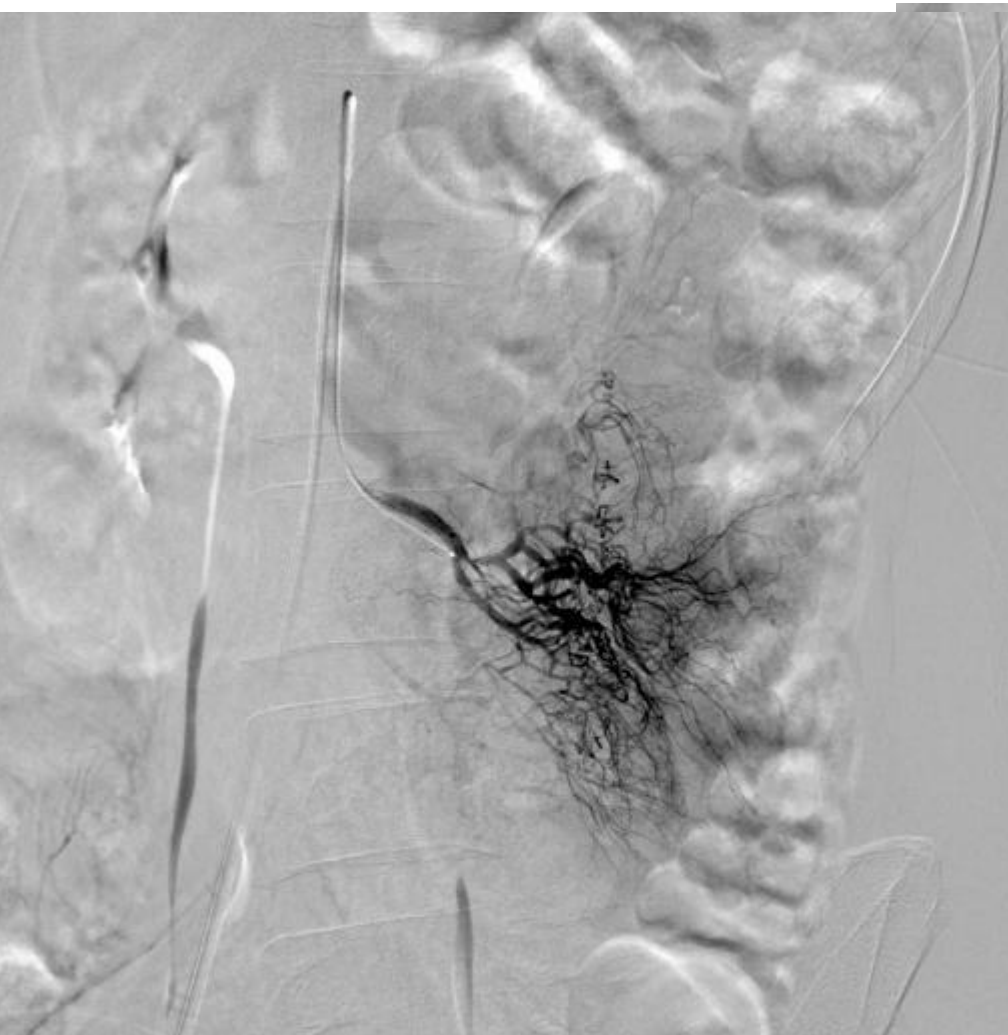
- 12/28 めまい・動悸・頭痛・倦怠感
- 01/03 嘔気、下痢症状、意識消失3回
- 01/04 14:30 意識消失、救急隊要請
- JCS:II-10 車内で少量の食残渣嘔吐
- 下血・出血性ショック

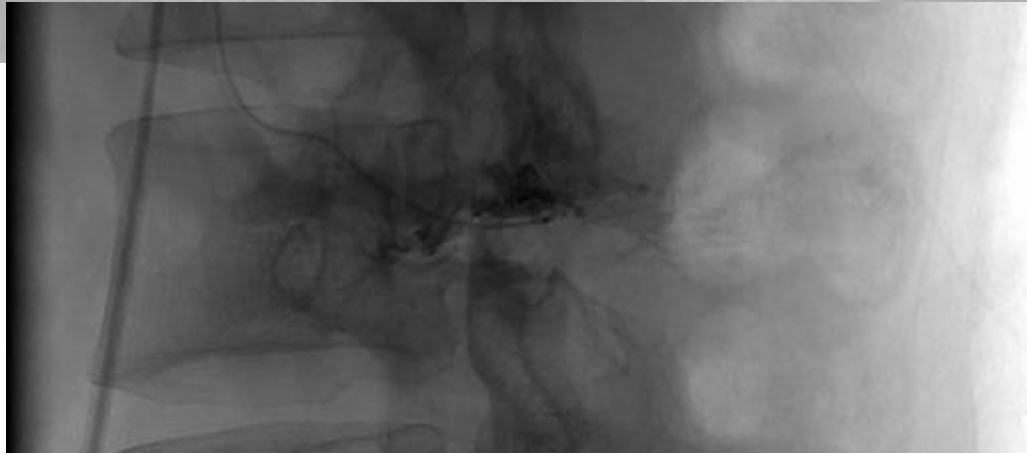
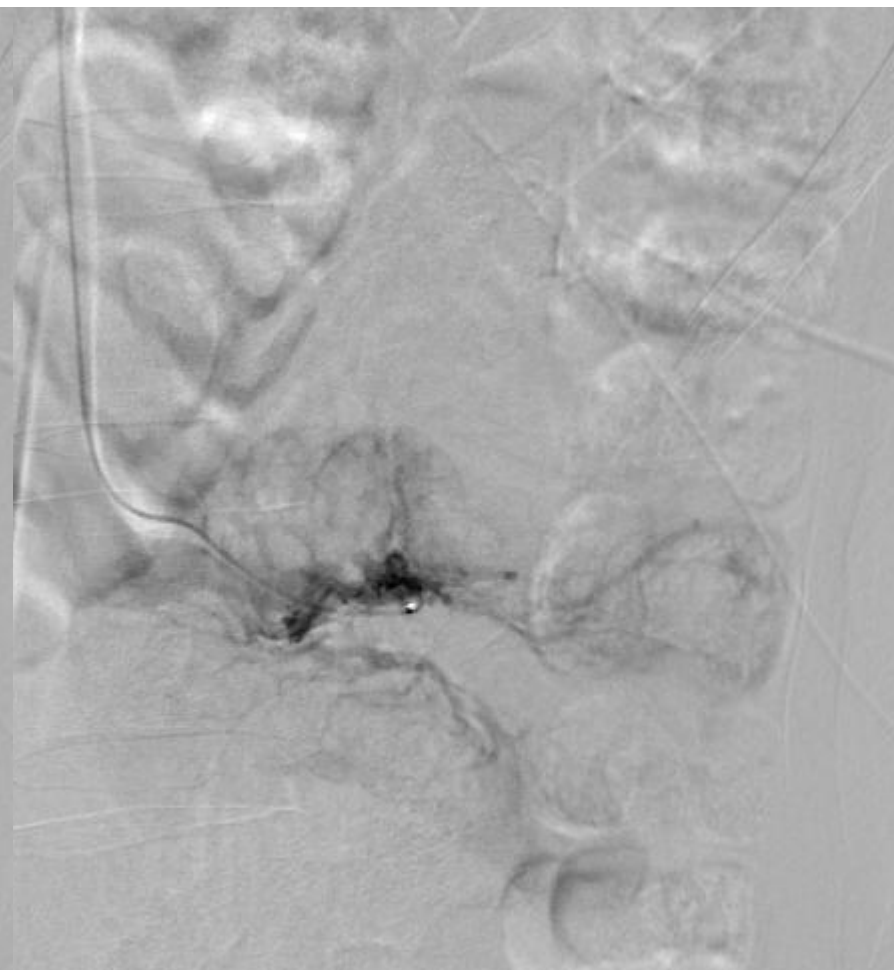
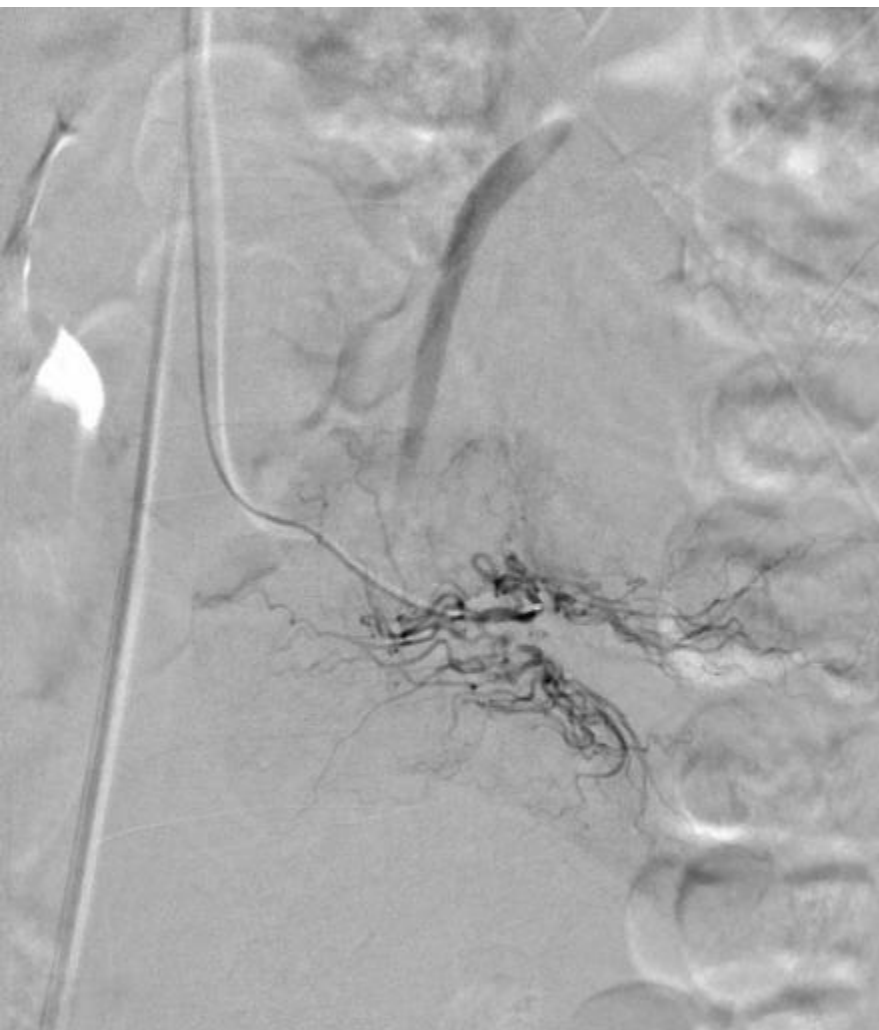












- 上腸間膜動脈造影および空腸動脈造影を施行するも造影剤の血管外漏出所見ハッキリせず。
- 更にプロスタグランジンを注入後の上腸間膜動脈造影にてもハッキリせず。
- そのためCTAを施行。
- 空腸動脈に造影剤の血管外漏出所見を確認。
- 第3空腸枝を選び造影を行ない血管外漏出所見を認めたためCTを施行したところ、手押しであったためか空腸内腔の血管外漏出所見は得られるものの、そこまでの枝まで造影されず。
- 手術時の切除範囲を考慮し、このままではかなり広域となるため、TAEは断念。

その後

- 自治医科大学にて小腸内視鏡施行。幽門輪から約130cmの空調に出血源を認めたが、止血困難。緊急開腹術を施行、小腸部分切除で、病理は血管腫であった。